

## は じ め に

新学習指導要領は、平成14年度から実施される完全学校週5日制のもと、ゆとりの中で子どもたちに「生きる力」をはぐくむことを基本的なねらいとしています。

平成12年度は、その新学習指導要領の移行措置実施の第1年目でした。

当センターでは、県内各学校の教育課題にこたえるため、さらに、当センターの研修講座の充実・改善に生かすため、主要事業の一つとして研究調査を実施しています。昨年度に引き続き今年度も「『生きる力』を育成する学校教育の在り方 - 学力の向上・心の教育・情報化への対応 - 」という共通テーマを設定し、研究調査を進めてまいりました。

研究調査は、プロジェクト研究（横断的な研究）、各部の専門的な視点からとらえた研究、県内高等学校の産業教育及び情報教育担当の先生方と当センター職員で構成する教材開発研究委員会による研究の3種類の形態で行いました。

上記の研究調査の結果を「研究紀要第5号」にまとめて、ここに発刊するとともに、情報教育部の研究成果である「情報教育ハンドブック13年度版」を当センターのホームページに掲載しました。

これらの研究結果が、各学校等において活用され、本県教育の充実発展のために少しでもお役に立てば幸いです。

なお、「研究紀要第5号」については、当センターのホームページに掲載する予定ですので、ご活用いただきたいと思います。

最後になりましたが、今年度の研究調査にご協力をいただきました関係機関並びに各学校の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成13年3月

長野県総合教育センター所長 小宮山 修